

市民活動サポートセンター いなぎ

ニュースレター

No.31

2010.4.15

発行/NPO法人

市民活動サポートセンターいなぎ

事務局/〒206-0802

稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ1F

市民活動サポートセンター内

電話 042-378-2112

FAX 042-378-6971

E-mail:info@i-inagi-support.org

http://www.i-inagi-support.org/

委員を募集しています

(仮称) 社会貢献活動支援制度策定会議

NPO法人市民活動サポートセンターいなぎでは、今年度稲城市からの委託を受け、(仮称)社会貢献活動支援(ポイント)制度に関する仕組みを検討することになりました。

そのため、どんな制度が望ましいかを話し合う策定会議を立ち上げる予定にしており、それに参加していただける委員を下記の要領で募集しています。関心のある方はぜひご応募ください。

▼小学校の社会科授業を支援するなど、様々なボランティア活動が考えられます。



この制度は、市民活動などの社会貢献活動に携わる市民や市民活動団体を対象に、その活動に応じたポイント等を付与し、活動に還元することで地域の活性化につなげていくことを目的としたものです。

会議では制度の名称、対象事業、ポイント等の還元方法など、具体的な内容について協議していただく予定です。

【募集要領】

- 対象/市内在住の20歳以上で市民活動に興味のある方
- 募集人員/若干名
- 応募方法/800字程度の作文(テーマ「市民活動を活性化し、住みよい稲城を作るにはどうしたらよいか」を自分の思いで書いてください。)FAX・メールでお

寄せいただいても結構です。

■応募期限/4月30日(金)

■応募・問合せ先/

市民活動サポートセンターいなぎ(協働推進課内)

Tel:042-378-2112

Fax:042-378-6971

E-mail:info@i-inagisupport.org

http://www.i-inagi-support.org/

「運営力アップのコツ！」

講師：安藤雄太氏
(東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー)

▼後半はグループワークでした



市民活動サポートセンターでは、これまで様々な講座を開催してきましたが、3月30日には団体の役員やリーダーの方を対象にした研修講座を開催しましたのでその様子をご紹介します。



講座の前半は、安藤雄太さんの「運営力アップのコツ！」と題した講演でした。

今回は団体の運営や会のあり方についてポイントを絞った内容なので、日頃、会の運営にかかわっている参加者のみなさんは、先生の話に納得したりうなずいたり熱心に聞き入っていました。



後半はグループワークで、団体運営の課題を見つけ、対応方法を話し合い、改善策を一緒に考えてきました。

参加者に共通するテーマを、専門家のアドバイスを受けながら考えたり話し合う中で、活動を続けていくヒントや課題解決のポイントを見つけられたのではないかと思います。(川本)

◆ 参考になった先生のコメント ◆

1. ミッション(目的)を常に明確に!

会を運営することに必死になっていると、だんだんと目標が薄れていく。

自分たちが本当は何をやりたいのか、始めた当初は何をやっていたのかを常に明確にしておくことが大切。新しく入ってくる人にもミッションをきちんと説明できるように。

2. 市民活動は違う人の意見があるから面白い!

その面白さを活動の中で作れているかが団体運営のポイント。会員が楽しいと思える活動をすることで共感してもらえる。

様々な人が参加するので意見を調整するのが大変だが、でも違う意見があるから活気づくこともあるし活動も広がっていく。

3. リーダーの役割

活動をしていくと常に問題がおきるが、それを解決していくのがリーダーの役割である。

運営上の課題を自身の責任で決断しなければならないこともあるが、違う意見も十分に聞きながら進めていくことが大切。

4. 若い人に参加してもらうためには?

若い人は一度は活動に参加してくれる。しかし継続して参加してもらうためには、若い人が自分で企画し、実現する部分を作ってあげないと難しい。

5. 助成金の申請書は?

何をしたいのか、伝えたい思いが文字になっていることが大切。(表現がきれいであるよりも)

二月

「私が地域で目指していること」

話し手：城所 巨^{なびと}人さん

調剤薬局を経営するほか、地域の消防団でも活躍している城所さんは薬局の3代目、初代の祖父が都内で酒屋を営んでいて、その屋号の「榊喜」は酒屋の一升榊と祖父の名前「喜一」からついたとのことでした。それが薬局の屋号にも引継がれています。

消防団員として、出初め式、節分、市民祭の警備、防災活動などの他、隔年行われる消防大会への参加訓練で4月～7月は2日毎の訓練が厳しいそうです。また、学校薬剤師の話は初めての方が多く、薬剤師の仕事が幅広いことを改めて知りました。

消防団、医薬分業、薬剤師に関するルーツやエピソードなど話の中身がたくさんあって、終始笑い声があり和みました。特に「薬の名前のつけ方」や人気グループ「ケツメイシ」は中国の薬の名前からつけたなど新たな発見もありました。

最後に「薬剤師も消防団も根っこは同じで地域に役に立ちたいという思いがあります」と話されましたが、この言葉に感動しました。（稲垣）

三月

「ファゴットってご存知ですか」

話し手：馬場 自由郎さん

ファゴットはドイツ語でFagottと書きますが英語ではBassoon（バズーン）といいます。初めて知った楽器ですが、全長1メートル余りで、オーケストラの中には必ず入っているとのこと。

約3オクターブにわたる音域を奏することができ、低音のダブルリード木管楽器で、リードは材料の暖竹を薄片にして二枚重ねて直接口にくわえて演奏します。どのようにして音が出るのか？音叉を使ってコップなどの共鳴現象や振動の実験で教えてくれましたが、参加者から「ホーツ」と言う声があがりました。正しい音を出すためには、難しい数式があつて管口補正をするのだそうです。

専門的なお話で、難しい内容でしたが、中間で演奏して下さった曲と最後の「庭の千草」の二重奏は心に沁みました。

このような素晴らしい演奏を間近で聴くことができるのも、正に金曜サロンスペシャルならではの思い出でした。（稲垣）

がんばってます

27



▲視覚障がい者も交えての定例会

3月15日に福祉センターで行われた「声のサークルこだま」の定例会の様子を取材しました。

「こだま」の活動の音訳とは、視覚に障がいのある方の要請に応じて社協だよりのほか、何かの取扱説明書やカタログの記載内容を声に出してテープに吹き込むものでした。

従って、邪魔な音が入らないよう、例えば飛行機の音や自動車の音など、生活音の

視覚障がいのある方に 音訳メディアを届ける

声のサークル こだま

代表：阿部 清英さん

ない真夜中に、細心の注意を払って、各人が一人で作業をしているそうです。

その音訳を届けるメディアは、電子機器の発達に伴い、どんどん変化しているとのことでした。

最初は、①テープに吹き込んだものをそのまま利用者に手渡していました。②やがて録音したテープをパソコンに取り込み、それをCDに焼いて利用者に渡すようになりました。③そして現在ではパソコンからDAISY形式のデジタル録音としてCDに焼いて利用者に渡しています。

性能が上がり便利になつているのでしようが、それらの機器を使用して作業をしているボランティアの方々は、変化するたびに、講習を受けたり、新機器の購入に戸惑ってきたということでした。

視覚障がいのある方にとって必要な大切な援助ですが、その仕事を一人真夜中にされている「こだま」の皆さんのご苦労に頭が下がる思いでした。（佐藤）

※DAISYについては4ページを参照してください。

〇連絡先：042-377-7796

デイジー DAISYって何のこと？

DAISYとは、デジタル録音図書を実用化するための国際標準で、Digital Accessible Information System の頭文字をとったものです。

★ ★

点字の読めない視覚障がい者に新聞や本などの情報を提供するためには、以前は音声のカセットテープに録音して配付するのが一般的でした。

ところが1冊の本を音声化するには何本ものテープが必要になります。しかもテープでは「あそこの文章をもう一度読みたい」と思っても簡単

に探し出すことができません。また、料理のレシピを調べたいという時に、最初からテープを回さなければ探せないというのではとても不便です。

★ ★

そういった不便さを解消したのがDAISYと呼ばれる新しい録音図書の製作規格です。

これにより、気になるところに「しおり」を付けたい、目次・ページ・見出し・章などの設定も可能になりましたから、知りたいところにすぐにジャンプできるようになりました。

また、音声データは圧縮した

デジタル録音に変わり、メディアもテープからCD-ROMになりましたから、1冊の本が1枚のCDに収まるようになりました。しかもデジタル録音なので、3倍速でもはつきり聞きとることができ、速読も可能になりました。

★ ★

DAISY形式のCDを再生するには、専用の再生機が必要ですが、これは日常生活用具に指定されていますから安価に入手できます。

自宅から24時間いつでもアクセスできる、視覚障がい者用「図書館」の実現も夢ではなくなってきました。

(小林)

編集後記

この号の校正を兼ねた編集会議で、「3ページ」声のサークルこだまの記事のDAISYという言葉が話題になりました。誰も正確な意味を知らなかったからです。

ここに簡単な説明を付けることにしました。

この号の校正を兼ねた編集会議で、「3ページ」声のサークルこだまの記事のDAISYという言葉が話題になりました。誰も正確な意味を知らなかったからです。

ここに簡単な説明を付けることにしました。

ことになったのですが、調べてみると、とても1〜2行では説明できないことが分かりました。しかも視覚障がい者が日常生活をおくる上ではとても重要な技術だったので、そこで急ぎよDAISYについて詳しく説明することにしました。

(小林)

NPO法人
市民活動サポートセンターいなぎ

理事会・総会

ほうこく

2月15日 ……………理事会

◎議事

- ① (仮称) ボランティアポイント制度について
- ② ハッピーリタイアメント講座補助事業について

3月15日 ……………理事会

◎議事

- ① 平成21年度事業報告書(案)について



- ② 平成22年度事業計画書(案)について
 - ③ 平成21年度決算報告(案)について
 - ④ 平成22年度予算(案)について
 - ⑤ 新規利用登録団体の承認について
- ◎報告事項
・各プロジェクトからの報告

総会は5月15日(土)午後3時から地域振興プラザ4階で行う予定です。

NPO法人「市民活動サポートセンターいなぎ」の会員を募集しています・・・年会費3,000円